

1 本年度の重点課題

1 確かな学力の定着・向上と学習指導要領に基づく力の育成
2 人権教育による豊かな心の醸成と規範意識の確立（一学校一改革：相手が笑顔になるあいさつ・返事）
3 気力・体力の向上（一校一運動「なわとび運動」の継続的な実施）
4 学習支援ボランティア等の効果的な活用（教科・読み聞かせ・クラブ活動等）
5 業務改善のための取組

2 評価と改善策等（4段階評価、評定3.0未満は太字）

評価内容		評価	課題・改善策
<b>I 人権教育による規範意識の確立と生徒指導の徹底</b>			
<b>1 学校・学年・学級経営の充実</b>			
① 確かな学力の定着、向上と学習指導要領に基づく力の育成を行っている。		3.0	▲あいさつに個人差がある。 ▲自己肯定感を高める取組が必要である。
② キャッチフレーズを子どもに定着させ、それに沿った行動を促進している。		2.8	
③ 児童が自他のよさを見つけ合う、自己肯定感を高める経営が行われている。		2.8	
<b>2 生徒指導の充実</b>			
(一学校一改革)	あいさつ・返事・言葉遣い	2.4	○生徒指導の諸問題について、情報共有がなされている。 ▲発達段階に応じた言葉遣いができるように、継続的に指導していく必要がある。 ▲「忘れ物が多い」「学習に必要な物を持ってくる」という点が十分でない。
① 基本的な生活習慣を確立するための指導を十分に行い、成果をあげている。	早寝・早起き・朝ご飯	2.7	
	学習用具の不備なし、忘れ物なし	2.3	
② 状況に応じた教育相談を適切に行っている。（子どもに対して、保護者に対して）		3.2	
③ 生徒指導上の問題等に関する報告・連絡・相談が確実に行われ、問題等に対する組織的な対応ができています。		3.5	
<b>3 人権教育・道徳教育の充実</b>			
① 人権教育の視点に立った教育活動を、全教育活動の中で計画的、意図的に進めている。		2.9	▲授業内容と関係ないタブレットの使用については、毅然とした指導が必要である。
② 主題に即した適切な資料や指導方法を工夫し、道徳の時間の指導の充実が図られている。		2.9	
③ ICT利用に伴う情報モラルやマナーの育成を強化している。		2.5	
<b>II 確かな学力の定着、向上と新学習指導要領に基づく力の育成</b>			
<b>1 基礎・基本の定着と活用する力の育成</b>			
① 子どもたちの「なぜ？」を授業に生かし、学習の場を設定し、毎時間の授業の充実に努めている。		3.0	▲発達段階に応じた「声のものさし」を徹底していく必要がある。 ▲共通実践事項は、どの学年も確実に指導していく。 ▲児童会活動からも意欲付けを行う。
② 相手の話をしっかりと聞こうとしたり、声の大きさに気をつけて話したりする態度が身につくように努めている。		2.6	
③ 単元テストや諸学力調査の結果分析を、具体策につなげ、実践している。		2.9	
④ 小中連携研修会、幼保小連携研修会での共通実践事項を実践している。		2.9	
⑤ 校内研修は計画的に推進され、内容は、学校や職員の必要性に沿った有意義なものとなっている。		3.2	
⑥ 校内研修での共通実践事項を徹底し、児童の学力向上に生かしている。		2.8	
⑦ 諸研究公開や講座等への参加は積極的になされ、その成果は、職員全体へ還元されている。		2.5	
<b>2 個に応じた指導の充実</b>			
① 個に応じたきめ細やかな指導を通して、どの子どもも授業の内容がよく分かるようにする。		3.1	○タブレットの活用について、発表が苦手、場面緘黙の子供には新たな発言の場として効果が高い。 ○就学指導において、学校での様子、家庭での困り感 ▲家庭と連携を図り、適切な就学援助ができるようにしていきたい。
② 読書指導が計画的になされ、子ども一人一人の充実した読書活動が展開されている。		3.2	
③ 個別の指導計画・支援計画に基づき、適切な就学指導、入級指導がなされている。		2.5	
④ 特別支援教育についての保護者・児童への啓発が適切に行われ、理解を深めることができています。		2.5	

Ⅲ 気力・体力の向上		
<b>1 体育・保健指導の充実</b>		
① 個々の目標をもたせ、自主的、積極的な運動等、体力づくりの生活化を図っている。(一校一運動の推進：なわとび運動)	2.3	▲なわとびを定期的に行うことができていない。始業前や昼休みなど呼びかけていく。 ▲苦手な食べ物を残しがちである。「あと一口」の指導を継続していく。
② 時期により、TT指導や講師招聘、各種教室の開催など、専門性を生かした指導を取り入れている。	3.0	
③ 健康の保持増進に関する意識・実践力の向上を図っている。(むし歯予防、視力低下防止、けが防止)	2.7	
④ 給食指導が十分になされ、「あと一口」で残食0を目指す。	2.9	
<b>2 特別活動や体験活動の充実</b>		
① 各種特別活動は自主・自発的な活動を推進し、子どもが自らの活動に充実感や有用感等をもつことができている。	2.7	▲来年度へ確実に引継を行うため、反省等は今年度中に集約しておく。
② 学校行事の時期、内容等は適切であり、それぞれのねらいを達成することができている。	3.3	
<b>Ⅳ 安全に配慮した、開かれた学校づくり</b>		
<b>1 危険予知・回避能力の育成</b>		
① 場や内容の設定を工夫した訓練や教室を実施している。	3.4	▲ヘルメット着用や登下校時の交通マナーが課題である。継続的に子供たちに指導していく。 ▲廊下や渡り廊下等を走る子供がいる。全職員で指導していく。
② 異年齢集団のよさを生かした集団下校や訓練等を行っている。	3.3	
③ 安全管理についての情報を保護者や地域へ周知し、協力態勢の確立に努めている。	3.2	
<b>2 安全管理の徹底</b>		
① 安全点検とその事後処置が確実にされている。	3.4	○主事の2人体制はありがたい。
<b>3 校内美化活動の推進と充実</b>		
① 教室や廊下、階段等の設営を計画的に行っている。	3.1	▲高学年が手本になれるよう、全体で声かけを行っていく。 ▲時間いっぱい掃除をしていない子を見かける。
② 教児一体となって清掃活動やエコ活動に取り組み、また、子どもへの指導、見届けを十分に行っている。	2.4	
③ 学級園や一人一鉢に主体的に取り組ませている。	2.8	
<b>4 開かれた学校・信頼される学校の推進</b>		
① 各家庭やPTAとの連携が十分に行われ、課題等の解決、諸計画の推進などが適切になされている。	2.9	○1日1話題を目標に、HPのブログ更新を積極的に行うことができた。 ▲コロナ禍も終わり、各行事に積極的に関わっていききたい。
② 地域の中の学校という立場から、地域等とのかかわりを積極的に持とうとすることに努めている。	2.7	
③ 学級・学年便り、HP等で、家庭や地域へ情報発信を積極的に行っている。	3.5	
<b>Ⅴ 地域の特色を生かした体験活動の充実</b>		
<b>1 郷土教育の充実</b>		
① 学校支援ボランティアを始め、地域の人材を積極的に活用している。	3.1	○学校支援ボランティアの協力による子供たちの見守り活動は、とてもありがたい。今後も授業等で活用していきたい。
② 地域の素材を活用した体験活動を取り入れている。	2.5	
③ 地域行事に進んで参加するよう呼びかけを行っている。	2.8	
<b>Ⅵ その他 業務改善(県の施策から)</b>		
① 学校は業務改善が進んでいると感じる。	2.8	▲なかなか、定時退庁時刻が守れなかった。さらに業務改善を推進していきたい。
② 学校の1アクション(19:30セット)をできるだけ守る。	3.1	
③ 本年度の自分の1トライはできるだけ実践している。	2.9	
④ 毎月30時間以内年間240時間以内の時間外勤務を守ろうとしている。	3.1	

### 3 次学期へ向けての取組

- 教育課程の確実な実施と内容の見直しや精選による校務改善を積極的に推進する。
- 基本的な生活習慣(学習・日常生活)の確立に向け、共通理解から共通実践までを推進する。
- 効果的な教育機器の活用した協働的な学び合いを意識し、指導法の工夫・改善を推進する。
- 業務改善の自己点検を各自行い、時間外勤務のさらなる削減を推進する。
- 学校支援ボランティアの活用を積極的に行い、学校の学びの充実を推進する。